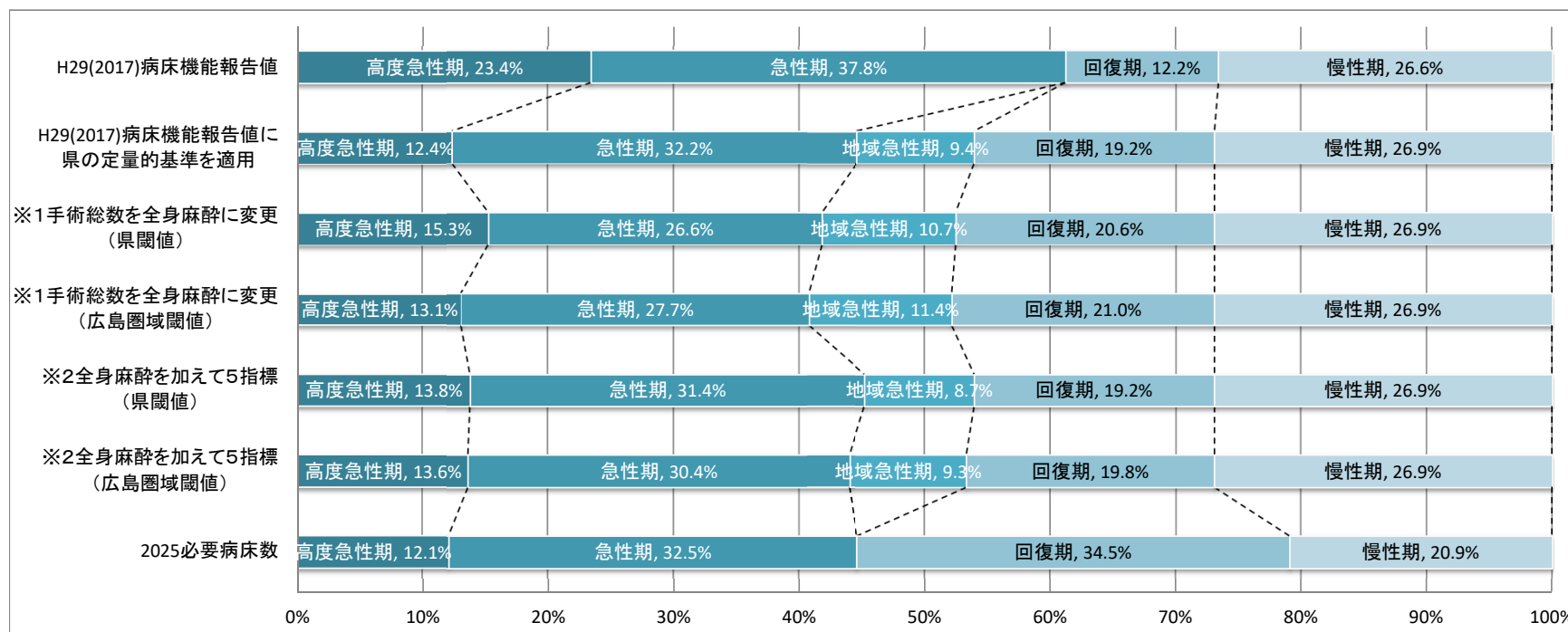


広島圏域における定量的基準(案)について

～各年度病床機能報告値, 定量的基準(案)及び2025必要
病床数との比較

1	H29(2017)年度	1
2	H30(2018)年度	2
3	R 1(2019)年度 (速報値)	3

H29(2017)病床機能報告値, 定量的基準及び2025必要病床数との比較(広島圏域)

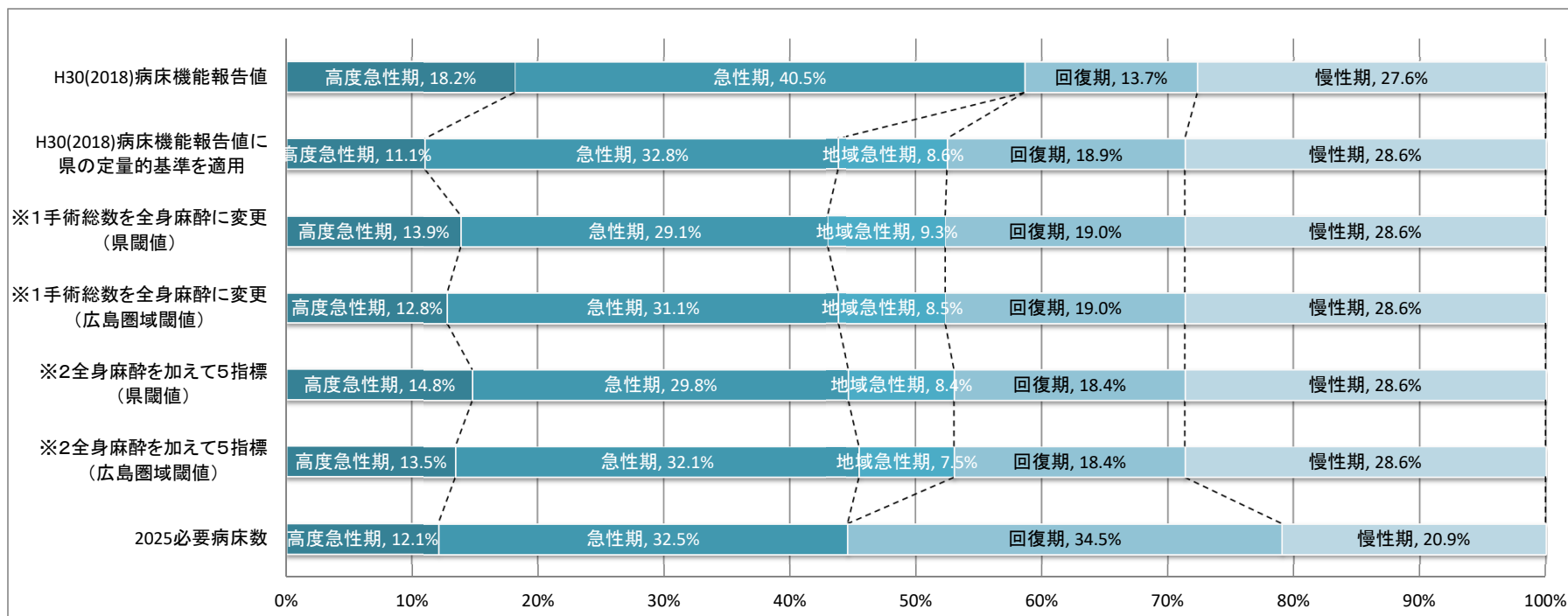


※1 県の定量的な基準4指標のうち, 手術総数を全身麻酔に変更して試算

※2 県の定量的な基準4指標に全身麻酔件数を加えた5指標で試算
 高度急性期と急性期の閾値については, 2倍にせず, 5項目中3項目以上該当で高度急性期, 1項目以上該当で急性期と判断している。

区分	H29(2017)病床機能報告値	H29(2017)病床機能報告値に県の定量的基準を適用	※1 手術総数を全身麻酔に変更(県閾値)	※1 手術総数を全身麻酔に変更(広島圏域閾値)	※2 全身麻酔を加えて5指標(県閾値)	※2 全身麻酔を加えて5指標(広島圏域閾値)	2025必要病床数
高度急性期	23.4%(3,128床)	12.4%(1,632床)	15.3%(2,012床)	13.1%(1,727床)	13.8%(1,819床)	13.6%(1,799床)	12.1%(1,585床)
急性期	37.8%(5,043床)	32.2%(4,244床)	26.6%(3,501床)	27.7%(3,651床)	31.4%(4,141床)	30.4%(4,003床)	32.5%(4,242床)
地域急性期	—	9.4%(1,235床)	10.7%(1,407床)	11.4%(1,498床)	8.7%(1,151床)	9.3%(1,228床)	—
回復期	12.2%(1,628床)	19.2%(2,527床)	20.6%(2,718床)	21.0%(2,762床)	19.2%(2,527床)	19.8%(2,608床)	34.5%(4,506床)
慢性期	26.6%(3,546床)	26.9%(3,544床)	26.9%(3,544床)	26.9%(3,544床)	26.9%(3,544床)	26.9%(3,544床)	20.9%(2,730床)

H30(2018)病床機能報告値, 定量的基準及び2025必要病床数との比較(広島圏域)



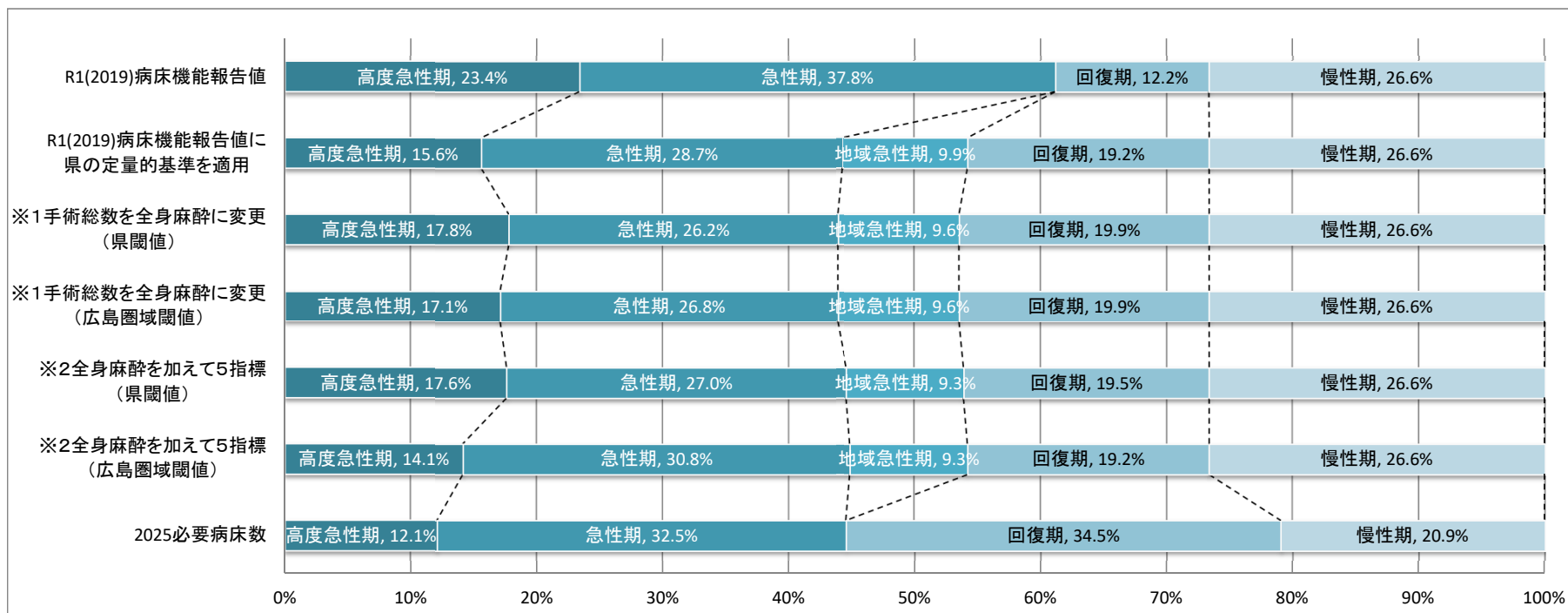
※1 県の定量的な基準4指標のうち, 手術総数を全身麻酔に変更して試算

※2 県の定量的な基準4指標に全身麻酔件数を加えた5指標で試算

高度急性期と急性期の閾値については, 2倍にせず, 5項目中3項目以上該当で高度急性期, 1項目以上該当で急性期と判断している。

区分	H30(2018) 病床機能報告値	H30(2018)病床機 能報告値に県の 定量的基準を適用	※1 手術総数を 全身麻酔に変更 (県閾値)	※1 手術総数を 全身麻酔に変更 (広島圏域閾値)	※2 全身麻酔を加 えて5指標 (県閾値)	※2 全身麻酔を加 えて5指標 (広島圏域閾値)	2025必要病床数
高度急性期	18.2%(2,505床)	11.1%(1,521床)	13.9%(1,912床)	12.8%(1,762床)	14.8%(2,038床)	13.5%(1,849床)	12.1%(1,585床)
急性期	40.5%(5,580床)	32.8%(4,510床)	29.1%(4,004床)	31.1%(4,271床)	29.8%(4,102床)	32.1%(4,408床)	32.5%(4,242床)
地域急性期	—	8.6%(1,182床)	9.3%(1,279床)	8.5%(1,162床)	8.4%(1,150床)	7.5%(1,033床)	—
回復期	13.7%(1,894床)	18.9%(2,599床)	19.0%(2,617床)	19.0%(2,617床)	18.4%(2,522床)	18.4%(2,522床)	34.5%(4,506床)
慢性期	27.6%(3,806床)	28.6%(3,931床)	28.6%(3,931床)	28.6%(3,931床)	28.6%(3,931床)	28.6%(3,931床)	20.9%(2,730床)

R1(2019)(速報値)病床機能報告値, 定量的基準及び2025必要病床数との比較(広島圏域)



※1 県の定量的な基準4指標のうち, 手術総数を全身麻酔に変更して試算

※2 県の定量的な基準4指標に全身麻酔件数を加えた5指標で試算
高度急性期と急性期の閾値については, 2倍にせず, 5項目中3項目以上該当で高度急性期, 1項目以上該当で急性期と判断している。

区分	R1(2019)病床機能報告値	R1(2019)病床機能報告値に県の定量的基準を適用	※1 手術総数を全身麻酔に変更(県閾値)	※1 手術総数を全身麻酔に変更(広島圏域閾値)	※2 全身麻酔を加えて5指標(県閾値)	※2 全身麻酔を加えて5指標(広島圏域閾値)	2025必要病床数
高度急性期	23.4% (2,498床)	15.6% (2,058床)	17.8% (2,345床)	17.1% (2,255床)	17.6% (2,322床)	14.1% (1,865床)	12.1% (1,585床)
急性期	37.8% (4,909床)	28.7% (3,781床)	26.2% (3,448床)	26.8% (3,538床)	27.0% (3,560床)	30.8% (4,056床)	32.5% (4,242床)
地域急性期	—	9.9% (1,308床)	9.6% (1,267床)	9.6% (1,267床)	9.3% (1,226床)	9.3% (1,226床)	—
回復期	12.2% (2,383床)	19.2% (2,533床)	19.9% (2,620床)	19.9% (2,620床)	19.5% (2,572床)	19.2% (2,533床)	34.5% (4,506床)
慢性期	26.6% (3,437床)	26.6% (3,503床)	26.6% (3,503床)	26.6% (3,503床)	26.6% (3,503床)	26.6% (3,503床)	20.9% (2,730床)

広島県の定量的基準(案)

A: 特定機能からの整理

- ・ 救命救急入院料(救命救急C)
- ・ NICU, PICU, ICUなどの治療室

- ・ 一般の産科病棟

現状の報告を基本

- ・ 小児入院医療管理料(病棟単位)
- 病棟の実態に即して判断
- ・ 緩和ケア病棟入院料

- ・ 回復期リハビリテーション病棟 入院料

- ・ 健診病棟

- ・ 療養病棟入院基本料
- ・ 特殊疾患病棟入院料
- ・ 障害者施設等入院基本料

高度急性期

急性期

回復期

慢性期

B: 具体の医療内容からの整理

【50床換算・月当たり件数】

- 手術総数 **114**回数 (126)
 - ・ 全身麻酔 **46**回数 (52) (広島圏域独自)
 - 化学療法 **22**件 (26)
 - 救急医療管理加算 19件
 - 呼吸心拍監視 45件
- ※いずれか2つを満たしていること
()は広島圏域の閾値

【50床換算・月当たり件数】

- 手術総数 **57**回数 (63)
 - ・ 全身麻酔 **23**回数 (26) (広島圏域独自)
 - 化学療法 **11**件 (13)
 - 救急医療管理加算 19件
 - 呼吸心拍監視 45件
- ※いずれかを満たしていること
()は広島圏域の閾値

地域急性期

②で回復期となった病棟のうち
救急医療管理加算の実績あり

④ 特にしきい値は設定しない。